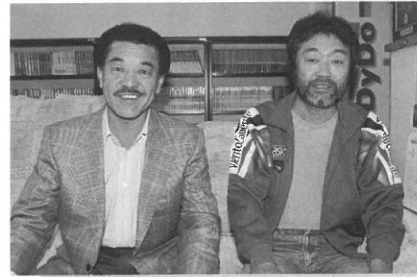


青く透き通った沖縄の海でダイビングを楽しもう！



(2004年1月取材)

(有)シーウィズ

沖縄県国頭郡恩納村字山田 357
TEL/FAX 098-965-6459

真栄田岬ダイバーズハウス

TEL/FAX 098-964-2497

代表取締役 古館 茂

ゲスト 具志堅 用高

具志堅 まずは、社長のこれまでの歩みからお聞かせ下さい。

古館 青森県出身で、学業修了後は北海道の自衛隊に入隊したのですが、すぐに辞めてしまったんです…。それで時間ができたことから昔から興味を持っていたダイビングを始めることにしました。それからどんどんダイビングの魅力に引き込まれ、本場沖縄へ来てからは住み込みで働きインストラクターの資格も取得し

たんです。

具志堅 その後独立されたのですか。

古館 いえ。5年ほどは夏はこちらのリゾート地で、冬は北海道のスキー場で勤務するという生活を続けました。その後、こちらの土地を所有していたオーナーから声をかけて頂き、自分のダイバーズハウスを持つことになったんです。ここはダイビングサービスとユースホステルが一緒になっている施設なんです。

具志堅 これまでを振り返っていかがですか。

古館 オープン当初から毎年来て下さるお客様もいらっしゃいますし、これまではたくさんの出会いがありました。今では私の財産なんですよ。沖縄へ来て本当に良かったと実感しています。

具志堅 ではこちらの一番の売りとは？

古館 真栄田岬が一番近いダイバーズハウスであるということと、低料金で本格的なダイビングを提供しているということです。基本的にはデイダイブ2本、ナイトダイブ1本と1日3本までにしており、充分な休息を取って安全に、そしてしっかりと楽しんで頂くスタイルを取っています。ユースホステルのほうも素泊まり2千円からととてもお得なので、是非一度足を運んで頂きたいですね。

具志堅 これからも頑張ってくださいね。

バリアフリー工事に特化し誰もが住み良い環境を提供する



(2004年1月取材)

(有)サンニン開発

バリアフリー住宅改修工事専門店

沖縄県沖縄市字高原 964 番地
TEL 098-930-6090 FAX 098-930-6091

代表取締役 田中 智枝子

専務取締役 我如古 盛健

ゲスト 具志堅 用高

具志堅 御社はバリアフリー住宅の改修工事をご専門にされているそうですね。

田中 はい。「高齢者や身体障害者の皆様の住環境を整え、最大に喜んでもらう事をモットーとする」を企業理念に掲げ、手すりの取付や段差の解消、床材の変更、扉の取替などを手掛けています。

具志堅 高齢社会ということもあって需要は益々高まっているのでは？

我如古 ええ。当社では一般住宅の依頼

が7割で、その殆どが医療機関や各施設のケアマネージャーからのご紹介です。

田中 退院後に不自由なく暮らせるようにということで、入院している間に医療機関とご本人様、そして我々まで何度もミーティングを行います。手すり1つにしても1センチ違うだけで、身体への負担は大きく変わりますから、ミーティングには充分な時間をかけているんですよ。また退院後は実際の使い心地はどうか等、

必ずお伺いして確かめています。

具志堅 お客様本位なのですね。

田中 利益が大きい仕事ではありませんが、お客様が喜んで下さればそれが我々にとって何よりの喜びとなりやりがいに繋がるんです。ですからお客様の負担を少しでも減らそうと、介護保険制度について詳しくご説明したり、適用される場合は役所等への申請等全て対応させて頂いているんですよ。

具志堅 では最後に今後の夢を。

我如古 今後も事業を手掛けるからには地域に貢献できる仕事をしていきたいですね。そして少しでも利益があれば、介護施設等に車椅子を贈呈するなど、できることをしていきたいと思っています。

田中 会社組織としての充実を図り、バリアフリー工事といえば「サンニン」と言われるように頑張っていきたいですね。

「基本」を大事にした保育方針で意見の持てる子どもを育てる



(2004年1月取材)

浅川学園台どんぐり園

福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘7-1
TEL/FAX 093-693-2472
URL: <http://www.asakawagakuendaigongurien.com/>

園長 松尾 万恵子

ゲスト 村野 武範

村野 こちらは開園されて5年になられるそうですね。

松尾 ええ。自分が実際に子育てを経験したことから、もっとお母さん方にゆとりが持てたらと思っていました。それで保育士の資格を持っていたこともあり、開園に至りました。

村野 こちらの園の特長と言いますと？

松尾 小学校に入ったときに、怯えたり困ったり迷ったりすることなく、堂々と

楽しく過ごせることを最終目標としています。そのため自分の意見をしっかりと持ち、その考えを言える子どもに育てているんですよ。ですから、例えば当園の子どもたちに「何の歌が歌いたい？」と聞くと各々から希望が返ってくるんですよ。

村野 ほう。他にはどういった取り組みをされているのですか。

松尾 当園では特に言葉遣いや姿勢、人の話を聞くといった基本的なしつけに力

を入れています。子どもたちは、「ありがとう」や「ごめんなさい」はもちろんのこと、敬語も使っているんですよ。また、椅子に座るときは背もたれを使わず、床に座るときは正座をして姿勢を正しくしています。そうすることで人の話もよく聞くようになるんです。

村野 なるほど。こちらでは教育という面でも様々な取り組みをされているとか。

松尾 ええ。ピアノ教室や体操教室、英語教室などがあります。英語は小さいころから習う必要はないと考えていたのですが、試しにやってみたら驚くほど吸収が早く、また楽しく学んでいる園児たちを見て導入を決めました。

村野 最後に今後の夢をお聞かせ下さい。

松尾 この園が良いと言って下さる方がいらっしゃる限り、頑張っていきたいと思っています。

信用を大切にしたい貿易を手掛ける中国に精通したエキスパート



(2004年1月取材)

大忠貿易(有)

福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10
内山ビル208号
TEL 093-511-0511
FAX 050-3354-0261

代表取締役 前田 知

ゲスト 村野 武範

村野 まずは御社の業務内容からお聞かせ下さい。

前田 中国からの輸入を手掛けています。現在は現地で木材をテーブルや椅子、小物家具などにした半製品を輸入しています。

村野 そもそも社長が中国に興味を持たれたきっかけは何だったのですか。

前田 高校生のときに「三国志」を読んだととても興味を持ったんです。それで原

文を読んでみたいという思いから大学は中国学科に進学。その後、海外事業部のある企業に就職し、中国を担当することになりまして、中国と日本を往復するようになったんです。

村野 中国に精通していらっしゃる社長がお仕事の上で最も大切にしておられることは何ですか。

前田 「信用」です。中国の方というのは、とても人間関係を大事にするのです。

ときには損得勘定抜きで「この人の為なら」といって仕事を手掛けられることもあるぐらいです。しかし、一方ではコスト計算が非常に細かくシビアな面があるのも特徴です。その点を考えても、やはり「信用」が一番大事になってくるんですよ。人間関係を大事にしながら、こちらに利益があれば向こうに還元することも忘れてはなりません。また、中国でビジネスをするには、現地で信用できるパートナーを見つけることも大切。パートナーがいれば、万が一トラブルが起きたときも安心ですし、仕事もスムーズに進められます。私にも家族ぐるみのお付き合いをしているパートナーがいますよ。

村野 それでは最後に今後の展望を。

前田 今後は中国からの輸入だけでなく、高い技術を誇る日本で作った木製品などの輸出も行っていきたいと考えています。

報道ニッポン

monthly graphic journal : houdou nippon issue 181 / Apr. 2004

4
Apr. 2004

特別
企画

再生日本

CLOSE UP

● 混迷の時代に強い～Specialistに学ぶ

- 企業家たちの横顔に迫る
- こだわりの食彩逸店
- ドクター訪問
- ニッポンを支える技と心～VIP・ザ・職人

特集
時事

進む生体認証！ バイオメトリクス

特集
地域

近畿・桜の名所を歩く

時代を読む

ホンダ、GEと提携

表紙：小型ジェット機用エンジンを共同で事業化

HONDA
The Power of

報道特集

問われる企業倫理

～社会に貢献する企業であるために～